

シンポジウム

近代牧場の礎

「下総御料牧場」を振り返る

〜牧場遺産の

継承に向けて

今できること〜



※昭和戦前期の下総御料牧場地図

2023

7/17

(月・海の日)

午後1時～4時

於「なごみの米屋 スカイトウンホール」

<入場無料、事前登録不要>

- 主催 下総御料牧場シンポジウム実行委員会
- 後援 成田市、成田市教育委員会、富里市、富里市教育委員会
公益社団法人千葉県畜産協会

「下総御料牧場の歴史を伝え、牧場遺産を守り活かしたい！」

クラウドファンディング6月下旬開始！ <https://camp-fire.jp/projects/678320/>



「下総御料牧場」とは？

下総御料牧場は、明治時代の創業以来1世紀近く、現在の千葉県成田市遠山地区、富里市十倉・七栄地区、芝山町川津場地区にまたがって存在した「皇室の牧場」です。西洋の農法を取り入れながら日本に適した牧場のあり方を追究し、全国の農家や畜産家に技術を伝え、家畜や飼料を分譲することで、日本の農牧業の発展を支える重要な役割を担ってきました。皇室のための家畜・食糧の生産はもちろんのこと、関東屈指の桜の名所としても親しまれました。その牧歌的風景の広がり、地域の人々にとって愛すべき日常の一部でした。

そんな牧場ですが、昭和44年の夏、新東京国際空港（現在の成田国際空港）の建設が始まることから惜しまれつつ閉場し、新たな牧場が開かれた栃木県高根沢地区へと移転していきました。閉場から半世紀以上の歳月が過ぎた今、牧場在りし日を記憶する人は少なくなってきました。

今回のシンポジウムでは、下総御料牧場がどのような場所だったのかを振り返りながら、牧場が残してくれた大切な遺産をこれからどのように保存・活用していけばよいか、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。どうぞふるってご参加ください。

シンポジウム

近代牧場の礎「下総御料牧場」を振り返る ～牧場遺産の継承に向けて今できること～

日時 2023年7月17日（月・祝）開場・受付 12:30／開始 13:00／終了 16:00

会場 「なごみの米屋 スカイトウンホール」（千葉県成田市花崎町 828-11）

入場無料（事前登録不要、会場にて受付）

1) 来賓あいさつ

2) 第1部 基調講演

「佐倉牧から下総牧羊場・種畜場、下総御料牧場へ」 富里市立図書館長 吉林昌寿氏

「第九代下総御料牧場長・田中二郎の時代」下総御料牧場の歴史を継承する会会長 山本順子氏

「閉場後の風景と牧場遺産の経緯について」 下総御料牧場シンポジウム実行委員会事務局

<休憩> リコーダー演奏 小森厚一氏（農学部卒、翻訳家、リコーダー愛好家）

3) 第2部 パネルディスカッション

「今、『牧場遺産』を継承する ～近代農牧遺産を守り活かす意義」

<パネリスト>

小岩井農場資料館長 野沢裕美氏 / 那須資料ネット代表 金井忠夫氏（元・那須野が原博物館長）

ジンギスカン鍋アートミュージアム館長 溝口雅明氏 / 富里市商工観光課長 林田利之氏

成田国際空港株式会社 上席執行役員 平山儀幸氏

<主催> 下総御料牧場シンポジウム実行委員会

<後援> 成田市、成田市教育委員会、富里市、富里市教育委員会、公益社団法人千葉県畜産協会

<会場への交通アクセス>

・電車でお越しの方：JR成田駅徒歩1分、京成成田駅徒歩2分

・お車でお越しの方：成田ICから10分、富里ICから10分

*隣接有料駐車場（地下1階から地上3階）料金20分/100円

駐車後24時間の最大料金1,100円

<お問い合わせ> 下総御料牧場シンポジウム実行委員会事務局（山本佳典）

Tel: 080-5231-4027 / E-mail: shimousabokujo2023@gmail.com

